

板橋区立中学校 生徒の読書状況調査
「読書についてのアンケート」まとめ
今後の課題と取組例

(令和2年11月・12月調査)

板橋区立中学校長会
板橋区立中学校教育研究会

1 概要

第三次東京都子供読書活動推進計画において、令和元年度東京都が実施した読書状況調査を受け、令和2年12月の板橋区立中学校全校の読書状況を調査し、現状把握をするとともに読書活動への意識向上の機会とします。また、調査の概略を報告し、今後の課題と取組例をご紹介します。

2 調査内容

(1)「読書についてのアンケート（生徒用）」

令和元年度東京都が調査した読書状況調査項目に準じます。

(2) 調査対象

各中学校の各学年から1学級ずつ抽出し、全学年で3学級分、計66学級分とします。

3 調査結果

(1) 調査対象生徒数

2060名

(平成24年度2177名・25年度2212名・27年度2188名・28年度2183名・29年度2165名・30年度2062名・令和元年度2046名)

(2) 中学生文字・活字状況調査（平成27年度から新規調査）

① この1か月間に、本（教科書・マンガは含まない。）、新聞、雑誌、補助教材、学習参考書、図鑑や辞典、その他資料を読んだ生徒数

1937名 94.0%

(平成27年度2047名93.6%・28年度2052名94.0%・29年度93.6%・30年度94.1%・令和元年度94.8%)

東京都	R1
91.9%	

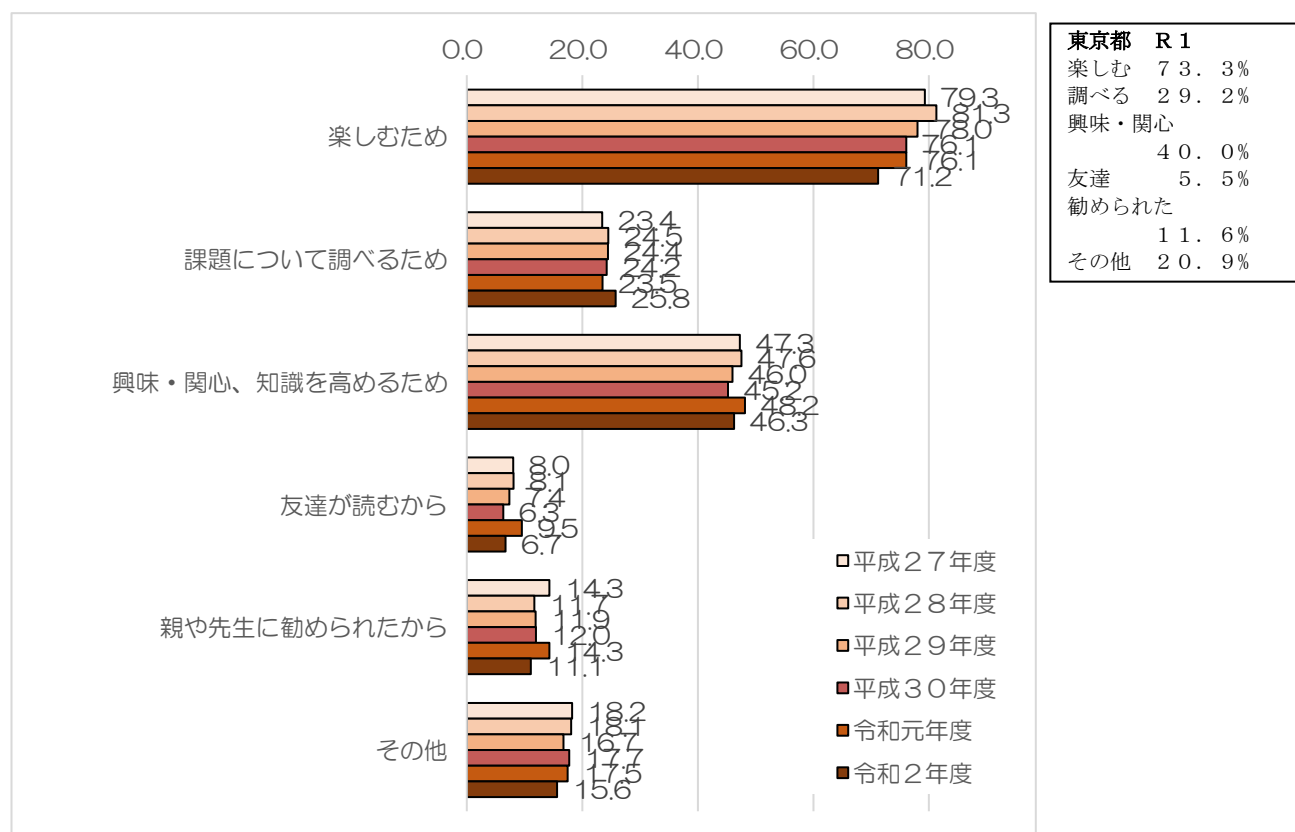
② ①のうち、パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話等で読んだ生徒数

730名 37.7%

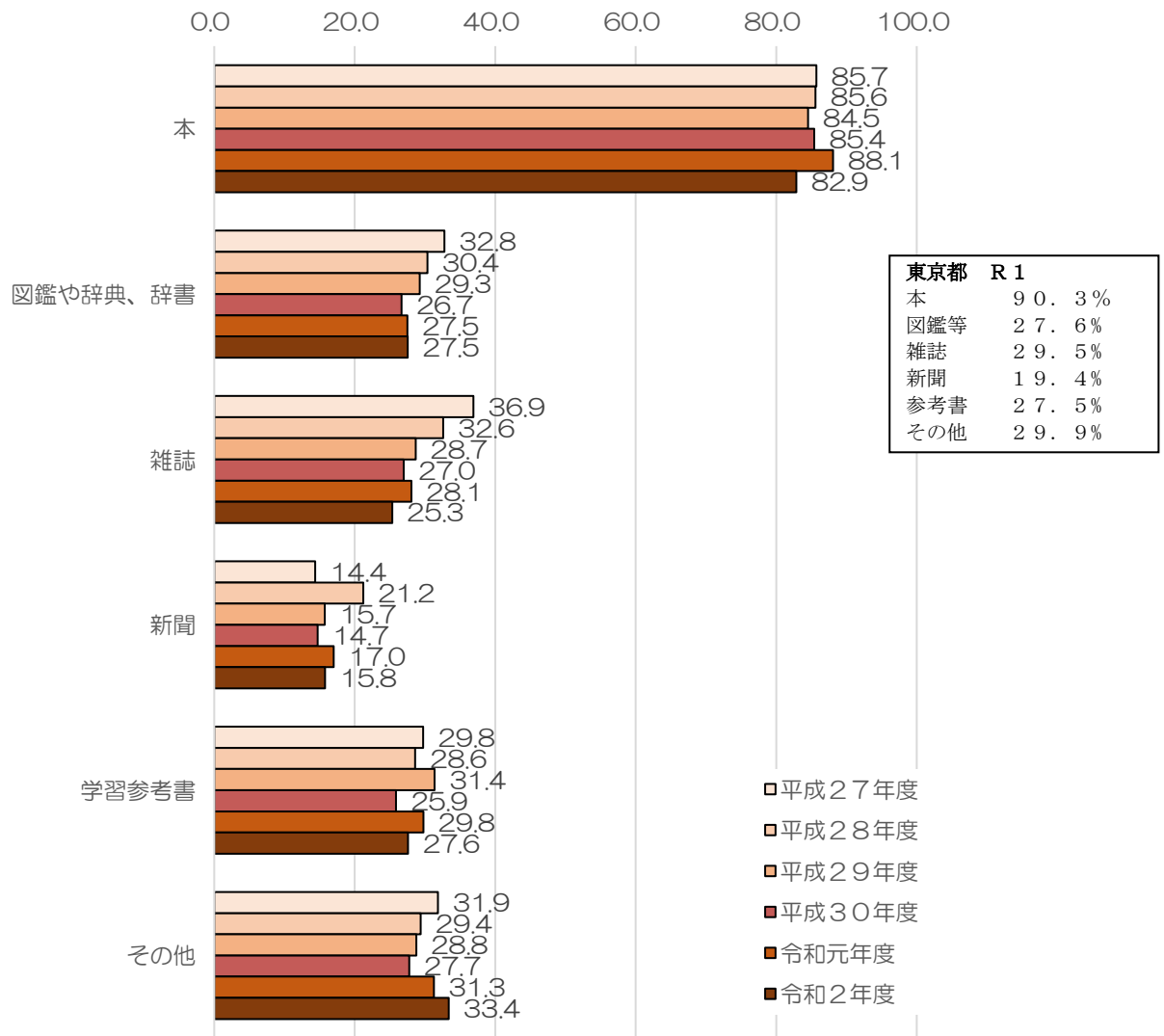
(平成27年度781名38.2%・28年度779名37.9%・29年度727名35.9%・30年度41.2%・令和元年度39.6%)

東京都	R1
37.2%	

③ ①のうち、本や雑誌、新聞などを読む理由：複数回答(%)



④ ①のうち、読んだもの：複数回答 (%)



⑤ ①のうち日本・海外の歴史・文化・風習の書かれたものを読んだか

523名 27.0%

(平成27年度694名33.9%・28年度602名29.3%・29年度623名30.7%・30年度31.0%・令和元年度601名31.0%)

東京都 R1
36.1%

(3) 中学生の未読者率・不読率 (%)

①この1か月間で本を読んだ生徒数 1785名 86.6%

(平成24年度1832名84.2%・25年度1906名86.2%・27年度1956名89.4%

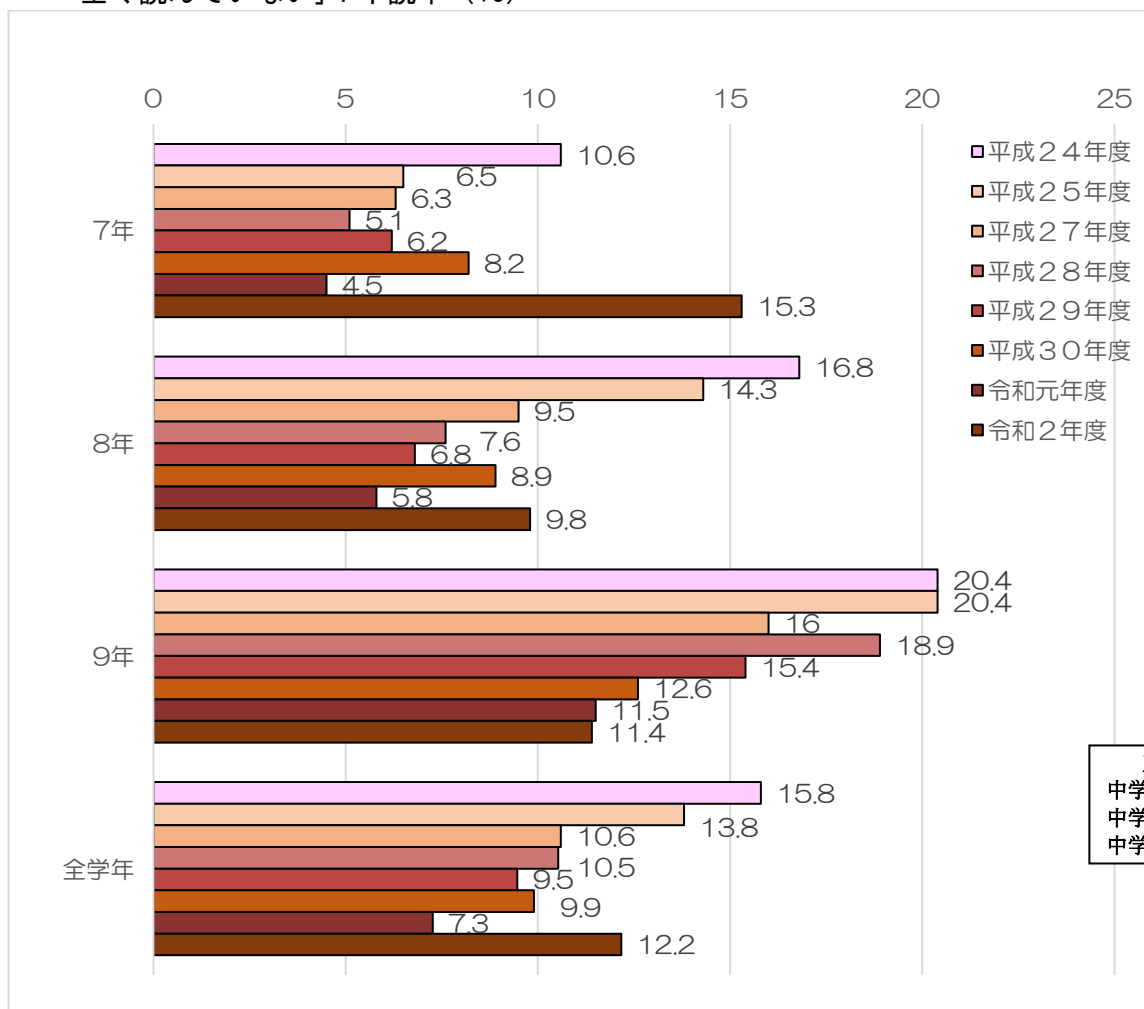
・28年度1928名88.3%・29年度1947名89.9%・30年度89.4%・令和元年度1876名91.0%)

年度	全国平均	東京都平均	板橋区平均
平成21年度	12.7	23.9	34.7
平成23年度	16.2	22.1	37.3
平成24年度	16.4		15.8
平成25年度	16.9	12.2	13.8
平成27年度	13.4	11.5	10.6
平成28年度	15.4		10.5
平成29年度	15.0	11.1	9.5
平成30年度	15.3		9.9
令和元年度	12.5	9.9	7.3
令和2年度			12.2

※東京都平均は、隔年（平成21・23・25・27・29年度・令和元年度）で実施され、板橋区立中学校2校の全学年全学級の抽出が報告されている。平成24年度以降の8回分の板橋区平均は、東京都が平成25・27・29年度・令和元年度に実施した読書状況調査項目に準じ、板橋区立中学校全校の各学年1学級ずつ抽出、調査結果を得ている。

※東京都平均は、中学2年生を対象としているため、板橋区平均の全学年対象とは異なる。

「全く読んでいない」：不読率（％）



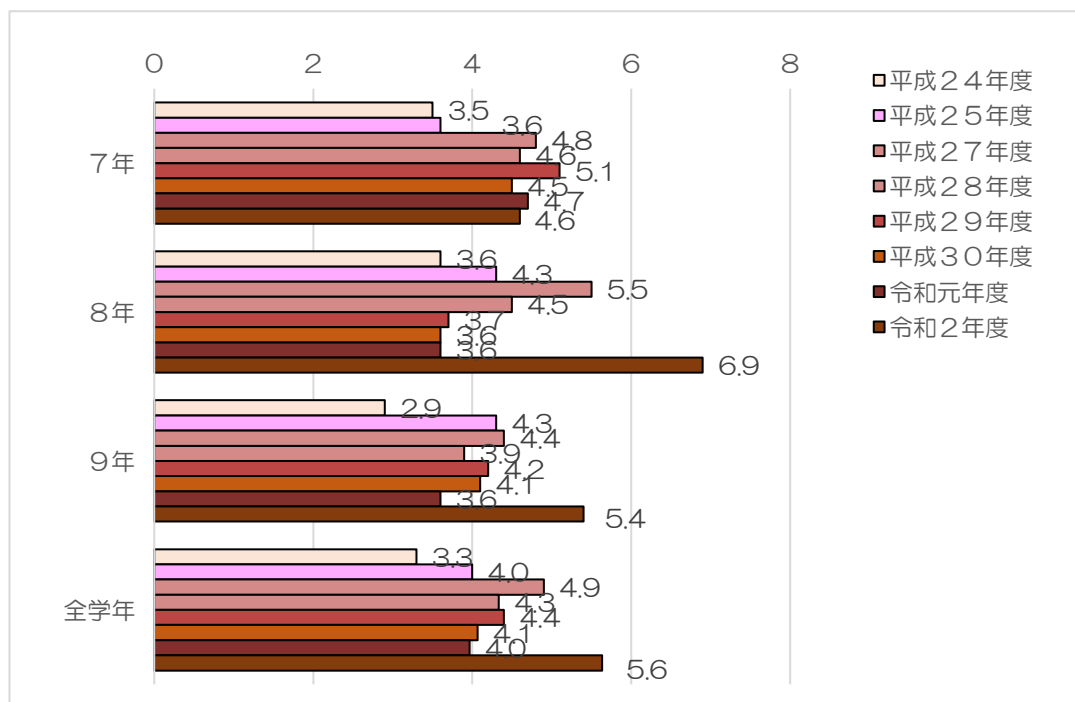
② 1か月で読んだ冊数の平均

（1人当たり）5.6冊

※ 1冊以上読んだ生徒が回答：1156名

（平成24年度3.3冊・25年度4.0冊・27年度4.8冊・28年度4.3冊・29年度4.4冊・30年度4.1冊 令和元年度4.0冊）

東京都 R1
 4.3冊



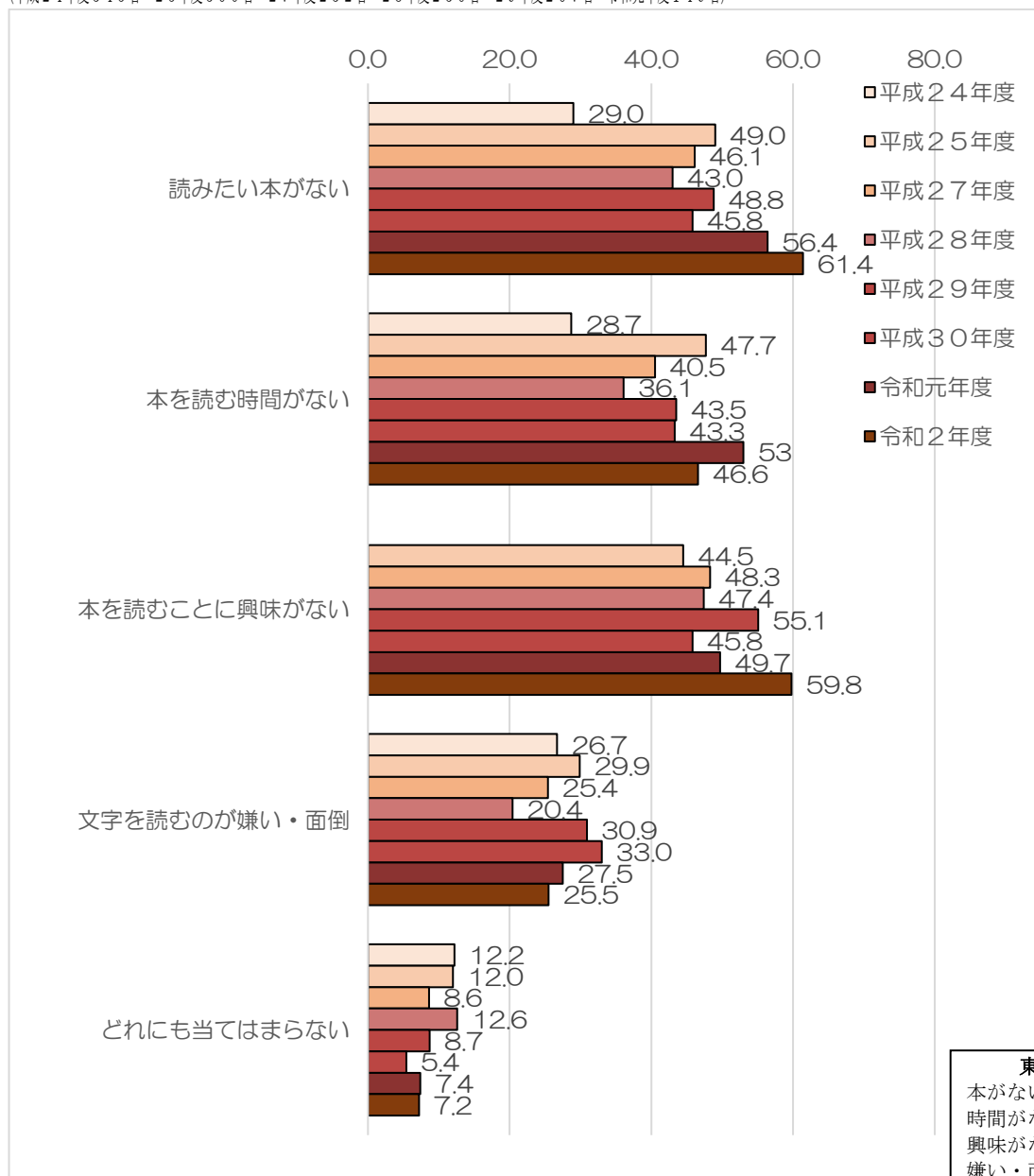
③読んだ本に電子書籍があった 310名 26.8%

(平成27年度294名15.0%・28年度260名13.5%・29年度285名14.6%・30年度17.6%・令和元年度329名17.5%)

東京都 R1
20.7%

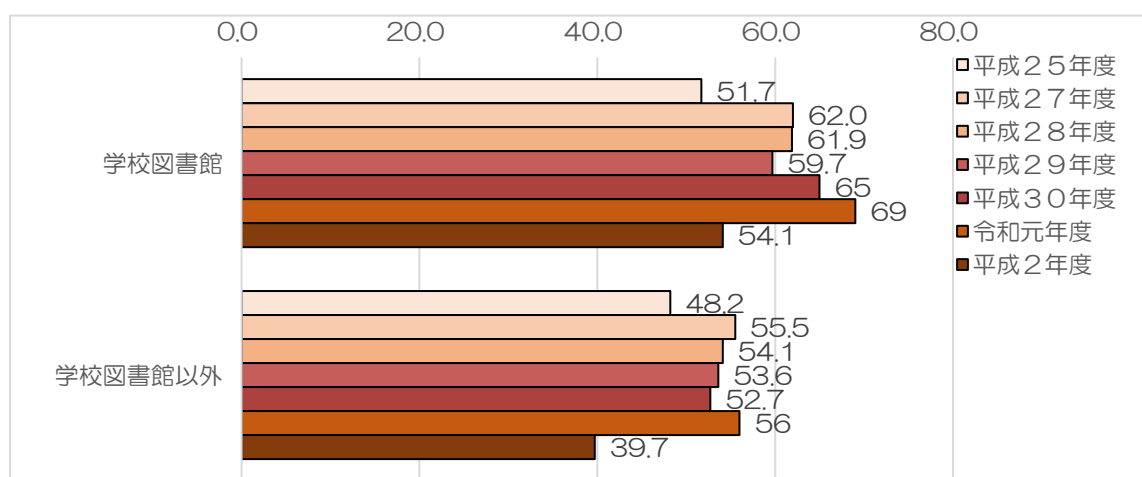
④本を読まなかった理由(%) 未読・不読者が複数回答：251名

(平成24年度345名・25年度306名・27年度232名・28年度230名・29年度207名・令和元年度149名)



東京都 R1
本がない 44.4%
時間がない 32.4%
興味がない 48.3%
嫌い・面倒 26.2%
どれでもない 7.6%

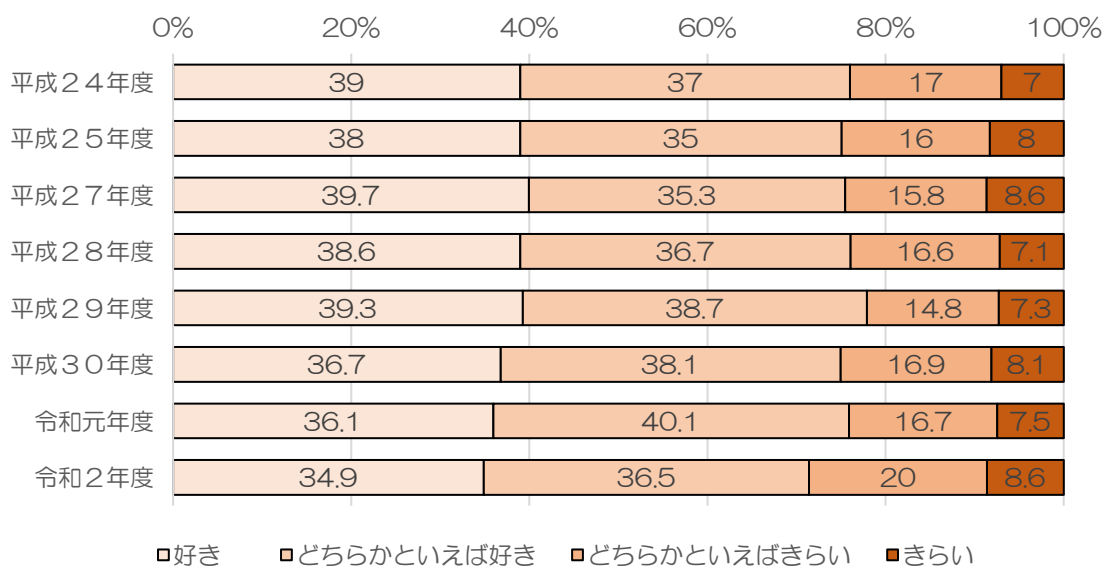
(4) 図書館の利用状況：全生徒回答



東京都 R1
61.7%

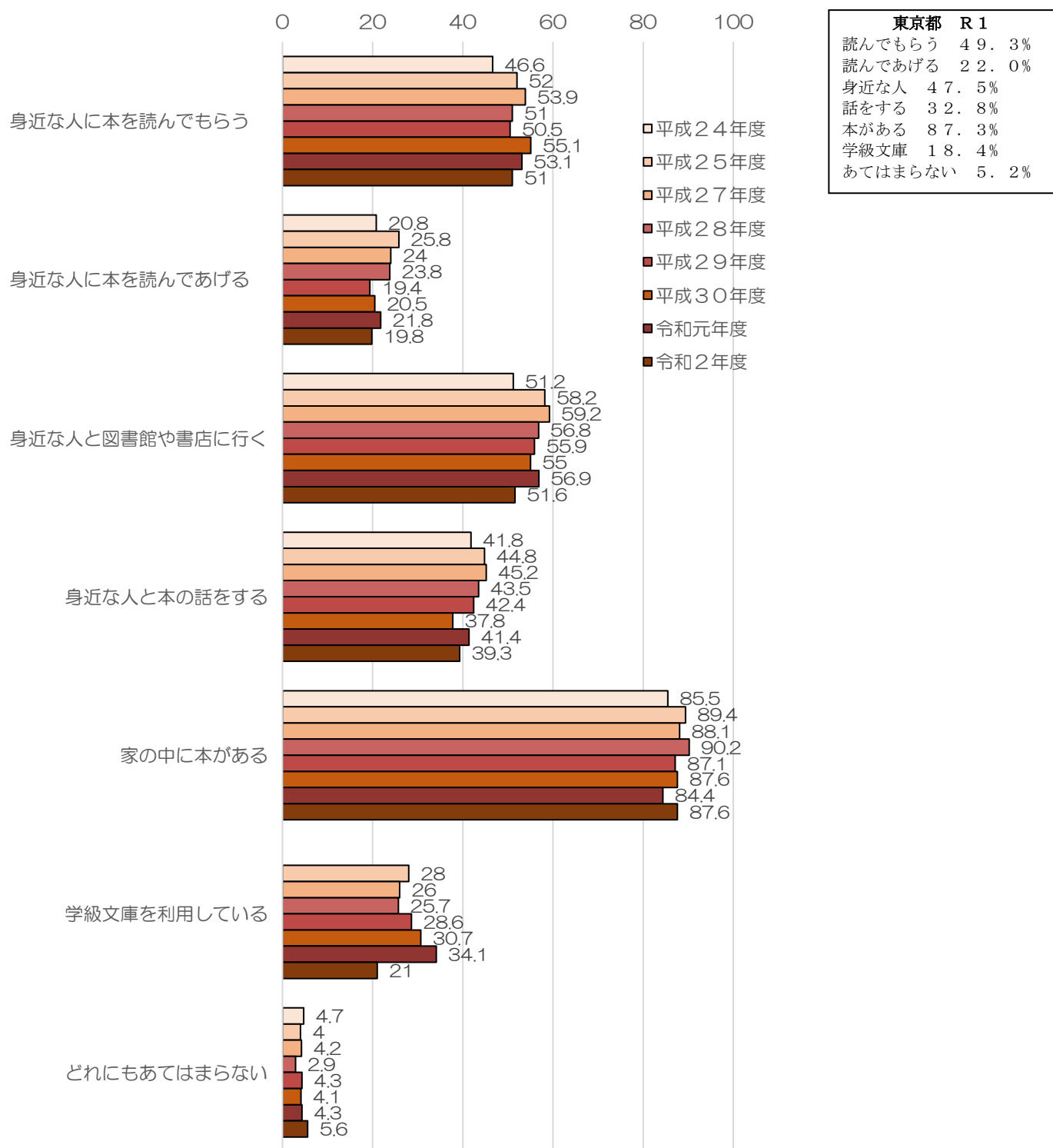
東京都 R1
47.3%

(5) 本を読むことが好きか：全生徒回答



東京都 R1	
好き	33.7%
どちらか好き	38.5%
どちらか嫌い	17.9%
嫌い	7.8%

(6) あなたについて ―読書環境(%)―



4 課題と取組例

・課題

- (1) 第三次東京都子供読書活動推進計画において、平成31（令和元）年度までに平成25年度の3割減となる目標数値：9.2%（中学2年生）及び平成35（令和5）年度までに6.6%（中学2年生）に向けて、今回の調査結果を踏まえた取組及びコロナ禍における新たな読書習慣の定着に向けた手立てを模索する必要があること
- (2) これまで学年進行の中で高くなっていた未読・不読率が、今年度は7年生において15.3%と最も高く、8年生9.8%及び9年生11.4%と昨年度のデータから推移していること
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、7年生については入学式・保護者会がなく、4月・5月と学校休業期間があった。そのため、6月からの分散登校後、学力向上のための朝学習及び朝読書の時間に授業時数確保のための朝モジュール授業の実施があったことが要因として考えられる。
- 特にその中でも8年生及び9年生は、これまでの読書習慣の定着があり、極端に不読率が高くなることはなかったと考えられる。
- (3) 1か月で読んだ冊数の平均が、8年生3.6冊から6.7冊へ、9年生3.6冊から5.4冊へ大きく伸びたこと
- 今年度は、学校休業期間による時間確保やこれまでの読書習慣の定着が図られていたためと考えられる。
- (4) 本を読まなかった理由のうち、「読むことに興味がない」が未読・不読者のうちの60%となること
- 本を読まなかった理由のうち、「本を読む時間がない」「読みたい本がない」という課題を解決することで「本を読まない」ことが改善される可能性があること
- (5) 図書館の利用状況では、「学校図書館」が54.1%、「学校図書館以外」が39.7%と、読書環境では、「身近な人と図書館や書店に行く」が51.6%と、コロナ禍における学校図書館・学校図書館以外の利用率に現れていること
- (6) 幼少時からの「読み聞かせ」の経験があることや「家の中に本がある」という環境が、読書習慣の定着に大きく関わること
- (7) 文字・活字状況調査では、本や雑誌、新聞などを読む理由として、「楽しむため」71%、「興味・関心、知識を高めるため」が46%で、読んだものとして「本を読む」が83%である。
- また、パソコン等37.7%があり、読書調査では、電子書籍が17.5%から26.8%へ推移がみられ、活字にふれる手立ての多様化があること

・取組例

- (1) 学校経営方針の中の位置付けとともに「朝読書」「板橋区『読書通帳』」「推薦図書」を家庭や地域に呼びかける「家庭読書の日」等、読書習慣の定着、読む本の質の向上、電子書籍等の活字にふれる手立ての多様化をさらに図る具体的な施策を実施すること
- (2) 「本を読む時間」を朝読書等の取組で短時間でも確保すること、推薦図書や学校図書館で購入する希望図書を生徒に周知し、新刊本の展示、図書委員会活動の活性化等、生徒の「読みたい」という意欲付けを図り、読書に主体的にかかわる態度を育成すること
- (3) 「調べる読書」について、図書館司書による図書案内サービスや図書登録の検索、地域図書館の貸し出しサービス、教科担当の先生からの推薦図書紹介等を行うこと
- (4) 「文字を読む」ことについて、国語等の教科指導や読書環境の整備の中で、目的をもって本を読んだり、考えを深めたり、他人に伝えたりする活動を取り入れ、「楽しい」「面白い」という経験を丁寧に積み重ねていくこと
- (5) 読書感想文コンクールや調べる学習コンクール等への出品を通じて、その価値付けを明確にすること

※読書感想文コンクール応募数・学校数・東京都読書感想文コンクール入選数

年度	応募数	学校数	東京都入選数
平成24年度	4163点	22校	優秀賞1点
平成25年度	4795点	20校	最優秀賞2点
平成26年度	5930点	23校	優秀賞1点
平成27年度	6879点	23校	優秀賞1点
平成28年度	6137点	21校	優秀賞1点
平成29年度	6472点	23校	優秀賞1点
平成30年度	6020点	22校	入賞なし
令和元年度	6001点	22校	最優秀賞1点優秀賞1点
令和2年度	5864点	22校	優秀賞3点

- (6) 学校図書館の図書の分置等の工夫、地域図書館の連携等を通じて、図書館の活用を推進すること
- (7) 読書活動を支える人材の育成を図ること